

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年10月18日(2012.10.18)

【公開番号】特開2011-50523(P2011-50523A)

【公開日】平成23年3月17日(2011.3.17)

【年通号数】公開・登録公報2011-011

【出願番号】特願2009-201139(P2009-201139)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月30日(2012.8.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

図柄情報の変動表示を表示可能な変動表示手段と、

所定の始動条件の成立に基づいて抽選用乱数を取得する乱数取得手段と、

該乱数取得手段により取得された抽選用乱数に基づいて抽選を行う抽選手段と、

該抽選手段の抽選結果が当りであるときに遊技者に利益を付与する利益付与状態に制御する利益付与状態制御手段と、を備え、

前記利益付与状態制御手段により前記利益付与状態に制御するときに前記変動表示手段にて前記図柄情報の変動表示を行って特定の図柄情報を停止表示する遊技機において、

前記始動条件が成立した後、前記図柄情報の変動表示に関する開始条件が成立するまでの間、前記乱数取得手段により取得された抽選用乱数を保留記憶として記憶し、当該抽選用乱数に基づいた前記抽選手段による抽選の実行を所定の上限数まで待機させる乱数記憶手段と、

前記抽選手段による抽選の実行の待機数を表示可能な保留表示手段と、

前記乱数記憶手段に記憶された抽選用乱数の数だけ前記保留表示手段にて保留表示を行う保留表示制御手段と、

前記乱数記憶手段に前記保留記憶を記憶する際、当該保留記憶の待機順序が何番目に相当するかを示す入賞時履歴を記憶する入賞時履歴記憶手段と、

前記抽選手段の抽選結果がリーチを導出する場合、当該抽選手段の抽選結果が当りであるか否か、及び前記入賞時履歴記憶手段に記憶された入賞時履歴に基づいて複数種類のリーチ演出からいずれかのリーチ演出を決定するリーチ演出決定手段と、

前記変動表示手段における前記図柄情報の変動表示に併せて、前記リーチ演出決定手段により決定されたリーチ演出を実行するリーチ演出実行手段と、を備え、

前記リーチ演出決定手段では、前記入賞時履歴に基づいて前記複数種類のリーチ演出からいずれかのリーチ演出を決定する際、前記上限数までの各々の入賞時履歴に対応付けられた特定のリーチ演出を決定する確率が高いのに対し、それ以外の入賞時履歴に対応付けられた前記特定のリーチ演出を決定する確率が低くなるが、該確率が低い前記特定のリーチ演出の決定時には、確率が高い前記特定のリーチ演出の決定時よりも前記利益付与状態に対する期待度が高くなるように設定されており、

前記保留表示制御手段は、前記保留表示手段における各々の保留表示として前記入賞時履歴を示唆する画像を表示することによって、前記保留表示の消化時における前記図柄情報の変動表示により前記リーチが成立した場合、当該保留表示の入賞時履歴に対応付けられた前記特定のリーチ演出を実行する確率が高い旨を認識させることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

遊技領域に設けられた複数の入賞口のうち始動口に遊技媒体が入賞したことに基づいて前記始動条件が成立することを特徴とする請求項1記載の遊技機。

【請求項3】

前記遊技領域に向けて遊技媒体を打ち込む発射手段を備えることを特徴とする請求項2記載の遊技機。